

竹田陽一の経営随筆集

2022年5月31日 第14号



良い本・悪い本・普通の本 その10

B. 良い本とは

ここ迄に、悪い本の事例について説明してきました。
良い本とは、今まで説明しているものが、きちんと実行されているものになります。

しかし私のこれ迄の経験では、内容が良く、本当に役立つ良い本は100冊に1冊位しかないようです。
ということは経営戦略や営業戦略、それに資金戦略など経営をする上で特別大事になるものは、1つのテーマにつき100冊～200冊は読む必要があることになります。

あなたはどう思われるでしょうか。

11. 良い本・悪い本のチェックリスト

ではまとめを兼ねて、これらのチェックリストを示しておきます。

1. どの程度の規模を中心にまとめているか、
経営規模についてはきちんと知らせているか。 5.4.3.2.1

2. 社長を中心にしているか中間役職者を中心にしているかなど、
客層を知らせているか。 5.4.3.2.1
3. どのような業種を中心にまとめているか、
業種を明らかにしているか。 5.4.3.2.1
4. スローガンやこうすべきであると指摘するだけでなく、
具体的な解決法がきちんと示されているか。 5.4.3.2.1
5. 中心となるテーマの構成要因を、きちんと分析して説明しているか。 5.4.3.2.1
6. 本文で説明している大事なものについては、重要性の違いを示すため、数字によってウエイト付をしているか。 5.4.3.2.1
7. 重要なところについては著者が自分独自の考えで実態調査をし、
自分独自の法則性を導き出しているか。 5.4.3.2.1
8. 文章の大事なところは、著者が掘り下げて考えた独自のものがあるか。 5.4.3.2.1
9. 本の中の大事な部分については、語源をきちんと確かめているか。 5.4.3.2.1

あなたが近々ビジネス書を読まれたら、この9項目を是非チェックしてみてください。

Lanchester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>